

特定非営利活動法人 日本防災士会 ダイバーシティ防災推進委員会 委員応募要項

2024/3/1

- (1) 本会の活動理念のもと健全な運営に資する意欲を持ち、委員として活動できる正会員の方
- (2) 委員会の規程を理解し、多様な参画者との連携・コミュニケーション能力を有する方
- (3) 責任感があり、誠実な方
- (4) 応募方法は、一般公募と支部推薦のどちらでも可能
- (5) PCおよびITスキルを有し、対面での会議等はもちろんのこと、Zoom等でのオンライン会議への参加や、イベント企画開催等へ積極的に参加できる方（未経験者でも可能）
- (6) Eメール、SNS ツール(LINE等)による連絡が可能で、必要に応じた連絡やレスポンス等ができる方

※ 募集締め切りは2024年3月17日（日）終日

■ 応募要項 概要

1. 活動目的	(1) 多様な防災士の活躍によって、地区防災力・災害対応力の向上を促進する (2) 女性、高齢者、外国籍、障がい者、LGBTQ+など、個々人の多様性に寄り添った防災に、積極的に取り組む (3) 避難所運営を対象に、ダイバーシティ防災の具体化を図る
2. 活動内容	(1) シンポジウム、スキルアップ研修会などの開催と情報発信 (2) 各関係団体と連携を図る活動 (3) リーフットやパンフレットの作成に係る活動 (4) その他、この会の目的達成のために必要な活動
3. 活動メリット	2021～2022年度 女性防災推進委員会委嘱者「任期終了者・振り返りアンケート」より 1. つながりができる ・本当に理解し合えたと感じられる素晴らしい仲間に出会えた。 ・様々な立場で活動している委員と、地域を越えて直接繋がることができた。 2. 環境がある ・どの委員にも、委員会に対して提案する権利があった。 ・日本防災士会に属する委員会の一員として、地域・性別・年齢・立場等に関わらず、主体的に活躍できる場があった。 ・全国各地から集まった多様な立場の防災士と、知識と情報交換の場があった。 3. 特徴のある活動ができる ・委員会の趣旨に沿うことであれば発案することができる。そのため、自由度が高く、やりたいことがある委員には非常に面白いと思える。 ・委員会の一員として活動すること一定理解を持つ人であれば、人間関係の構築ができネットワークを高めることができる。 4. 提言だけでなく、記録、実践することの重要性を実感した。 5. 日本防災士会すべての会員に向けての発信・啓発を、委員会から発信した。
4. 応募方法	支部推薦及び一般公募